



弔辞 大塚龍一郎議員

5月22日 大津町議会一同

大塚議員は、平成9年の初当選以来、20年以上にわたって町政の中核を担い、多くの要職を歴任されました。とりわけ、平成25年からの4年間は議長として議会を牽引され、そのリーダーシップと献身的な姿勢は、今なお多くの議員の記憶に深く刻まれています。

平成28年に発生した熊本地震に際しては、連日のように災害対策本部へ足を運ばれ、役場執行部と密に連携を取りながら、町民の安全と安心のために尽力されました。そのお姿は、まさに町を守る「砦」として、多くの人々に勇気と安心を与えてくださいました。

また、平成27年には、議会だよりの充実を目指し、尚綱大学との連携協力協定を結ばれるなど、町議会の情報発信の在り方にも先進的な取り組みを推進されました。今日の大津町議会だよりの礎は、大塚議員の努力によるものであり、県内外からも高い評価を受けるに至っております。

地元である大津町の小中学校を卒業され勉学のために上京されましたが、再びふるさと大津町へ戻り、町民のために尽力された人生でした。議員としての活動だけでなく、幼少期から親しまれていた野球を通して、大津町軟式野球協会の会長としてもスポーツ振興に取り組まれました。晩年には、小学生の登校時に見守り活動を行われるなど、町の未来を担う子どもたちへの温かい眼差しを最後まで持ち続けておられました。

また、文化財保護への関心も高く、国指定重要文化財である江藤家住宅についても一般質問を通して取り上げられるなど、大津町の歴史と文化への深い理解と愛情を持っておられたことが印象に残っています。

今議会だよりに記されるはずだった「持続的発展へ地域の想い果たす」というお言葉には、大塚議員がこの町の未来をどれだけ真剣に考えておられたか、その想いが凝縮されています。

昼休みに奥様の手作りのお弁当をおいしそうに召し上がっていたお姿、ニュースの話題について後輩議員に分かりやすく解説されていたお姿、そして、議会だよりにいつも目を通し広報委員長へアドバイスをされていたお姿、決して忘れることはできません。

大塚議員が残された多くの功績と、町への深い愛情は、今後も私たち大津町議会議員全員がしっかりと受け継ぎ、より良き大津町を築いていくために尽くしてまいります。

大塚龍一郎議員、本当にありがとうございました。

どうか安らかに眠ってください。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

議会改革推進 都市計画等調査 特別委員会を設置

現在の町や議会の大きな課題に、議会として重点的、効果的に取り組むため、2つの特別委員会を設置しました。

議会改革推進特別委員会

令和3年の町議会議員選挙が無投票となったことを受け、**議会活性化**特別委員会を設置し、「議員のなり手不足」対策に取り組み、今回選挙では一定の成果を得ることができました。

その反面「議会の見える化」などの取組については、課題も残っています。

これから、さらに「議会の見える化」や「議会機能の充実」を進めるため、**議会改革推進特別委員会**を設置します。



委員長	佐藤 真二
副委員長	三宮 美香
委員	西川 秀貢
	清原 さおり
	岩下 啓史

都市計画等調査特別委員会

現在、町では「都市計画マスタープラン」や「立地適正化計画」など、まちづくりの重要な計画が策定されています。

こうした計画は、町の将来像と同時に、現在の行財政に大きな影響を与えるもので、議会としてしっかりと理解する必要がありますが、通常の活動では十分な対応ができません。

こうした計画等について詳しく説明を受け、意見を述べる場を設けるため、**都市計画等調査特別委員会**を設置します。



委員長	大塚 勝二
副委員長	大村 裕一郎
委員	大塚 益雄
	時松 智弘
	村山 龍一

用語解説

○特別委員会

2つ以上の常任委員会の所管にわたる事件や、特に重要な案件で集中的に審査するために設置する委員会。委員会条例に基づき、必要がある場合において、議決を経て設置することができます。

○都市計画マスタープラン

将来のまちの姿を見据え、暮らしやすく、持続可能なまちをつくるために、都市の将来像や土地利用、交通、公共施設整備などの方向性を示す、市町村が定める「まちづくりの基本方針」です。

○立地適正化計画

居住機能や医療・福祉・商業、公共交通等のさまざまな都市機能の誘導により、都市全域を見渡し、持続可能な都市構造を目指す包括的なマスタープランです。